

仲宿 サンサンクレール

可山 優三

日本橋を起点とした中山道の一番目の宿場町、板橋。その一角、仲宿商店街に今日は来ています。数十年前、ホームパーティ形式で娘の親しい同窓の集まりが高島平で開催され、母親の皆様も参加した時の話。「板橋は暮らしやすい」という話で盛り上がったとの事。

その仲宿の他にも、板橋宿不動通り・中板橋商店街・遊座大山商店街・ハッピーロード大山商店街・志村銀座・常盤台商店街と商店街が点在している。大手のスーパーが進出し、いつの間にか、シャッター通りになるご時世、昭和というレトロを残しつつ日々の暮らしが営まれ奮闘している。

「サンサンクレール」というサンドイッチ屋さん。

玉子サンドも2種類あります。一般的な玉子サンドと、厚焼き玉子、それもだし巻き玉子のサンドイッチです。一般的な玉子サンドは220円、だし巻き玉子320円。コンビニのサンドイッチと値段はさほど変わらないにもかかわらず、モリモリに盛った、いや挟んだ玉子サンドで、玉子好きには、たまらない。今まで、だし巻き玉子サンドなるものを食べたことがないので「これもありだな」と妙に感心し美味しく感じます。



盛り盛りといえば、ハムカツサンドである。薄ぺらな縁が赤いボンレスハムではない。圧巻でしょ。こんな分厚いのは、他には無いだろう。おじいさんとおばあさんが手をつないだら、皺合せ 幸せを感じる。

サンドイッチに合う飲み物と言えば、紅茶。茶器は、今日はロイヤルクラウンダービーロイヤルアントワネットで優雅にいただきます。エリザベス女王が週末過ごされるウィンザー城の朝食用のテーブルウェアの一つだそうです。1750年英国で創立、1775年ジョージ三世よりクラウンの栄誉を、1890年にビクトリア女王よりロイヤルの二つの称号を賜った由緒ある格調高い、陶磁器メーカーであります。日本で言うと、宮内庁御用達か？すべての工程を英国のダービー州の自社工場で行い所謂THEメイドインイングランドだそうです。

と言いながら、「シュパ！」ビールが、照り焼きチキンとバジルポテトのサンドイッチに合うんです。日曜日の遅めの昼には、これで決まりでしょ。

